

令和6年度

決算説明資料

1. 経済観光文化局所管決算総括・・・・・・・・・・	1
2. 重要施策の実施状況・・・・・・・・・・	5
3. 款項目別決算資料・・・・・・・・・・	23
4. モーターボート競走事業会計利益の処分・・・・・・	53
(参考1)決算額の推移・・・・・・・・・・	55
(参考2)モーターボート競走事業会計財務諸表・・・・・・	57
(参考3)負担金、補助及び交付金の支出状況・・・・・・	61
(参考4)令和6年度宿泊税充当事業の決算について・・・・・・	67

経済観光文化局

1. 経済観光文化局所管決算総括

(1) 一般会計

(歳入)

予 算 科 目	予 算 現 額				調 定 額 (B)
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	計 (A)	
(17) 分担金及び負担金	29,113	—	—	29,113	29,114
(18) 使用料及び手数料	374,444	—	—	374,444	352,582
(19) 国庫支出金	674,153	1,133,572	209,472	2,017,197	802,675
(20) 県支出金	301,925	—	1,157	303,082	208,127
(21) 財産収入	166,641	1,395	—	168,036	147,641
(22) 寄附金	277,420	—	—	277,420	321,162
(23) 繰入金	754,706	—	—	754,706	29,500
(25) 諸収入	171,905,679	948	—	171,906,627	169,731,172
(26) 市債	2,389,000	△127,000	243,000	2,505,000	1,344,000
歳入合計	176,873,081	1,008,915	453,629	178,335,625	172,965,974

(歳出)

予 算 科 目	予 算 現 額				
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費補充額 流 用 額	計 (A)
(7) 経済観光文化費				—	
1 商工費	180,335,088	1,806,843	1,147,603	—	183,289,534
2 観光費	3,749,060	995,146	285,666	—	5,029,872
3 文化費	10,779,318	11,196	67,045	—	10,857,559
歳出合計	194,863,466	2,813,185	1,500,314	—	199,176,965

※各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

(2) 企業等成長支援事業特別会計

(歳入)

予 算 科 目	予 算 現 額				調 定 額 (B)
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	計 (A)	
(1) 繰入金	1,075,725	—	—	1,075,725	1,073,064

(歳出)

予 算 科 目	予 算 現 額				
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費補充額 流 用 額	計 (A)
(1) 事業費	1,075,725	—	—	—	1,075,725

(単位:千円)

収入済額 (C)	不納欠損額 (D)	収入未済額 (B)-(C)-(D)	翌年度繰越額 (E)	差引過不足(△)額 (C)+(E)-(A)	収入率 (C)/(A)
29,114	—	—	—	1	100.0%
352,301	253	28	—	△22,143	94.1%
802,675	—	—	1,130,924	△83,598	39.8%
208,127	—	—	—	△94,955	68.7%
147,641	—	—	—	△20,395	87.9%
321,162	—	—	—	43,742	115.8%
29,500	—	—	—	△725,206	3.9%
169,727,154	550	3,468	—	△2,179,473	98.7%
1,344,000	—	—	1,083,000	△78,000	53.7%
172,961,675	803	3,496	2,213,924	△3,160,026	97.0%

(単位:千円)

支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行率 (B)/(A)
178,320,118	1,380,930	3,588,486	97.3%
4,473,019	291,337	265,516	88.9%
8,877,890	1,356,477	623,192	81.8%
191,671,026	3,028,744	4,477,195	96.2%

(単位:千円)

収入済額 (C)	不納欠損額 (D)	収入未済額 (B)-(C)-(D)	翌年度繰越額 (E)	差引過不足(△)額 (C)+(E)-(A)	収入率 (C)/(A)
1,073,064	—	—	—	△2,661	99.8%

(単位:千円)

支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行率 (B)/(A)
1,073,064	—	2,661	99.8%

(3) モーターボート競走事業会計

①収益的收入及び支出

(収益的收入)

予 算 科 目	予 算 現 額			
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	計 (A)
モーターボート競走 事業収益	69,949,121	—	—	69,949,121

(収益の支出)

予 算 科 目	予 算 現 額				
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費補充額 流 用 額	計 (A)
モーターボート競走 事業費用	66,600,363	—	—	—	66,600,363

収入支出 差引	3,348,758
---------	-----------

②資本的收入及び支出

(資本的收入)

予 算 科 目	予 算 現 額			
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	計 (A)
資 本 的 収 入	—	—	—	—

(資本の支出)

予 算 科 目	予 算 現 額				
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費補充額 流 用 額	計 (A)
資 本 的 支 出	6,047,036	570,000	147,807	—	6,764,843

※資本的收入額が、資本的支出額に対し不足する額5,428,262千円は、繰越及び当年度利益剰余金処分額

③業務量

区 分	予定量 A	実績 B	差引増減 B-A	比率 B/A
開 催 日 数	日 168	日 168	日 —	% 100.0
年 間 舟 券 売 上 金 額	千円 63,279,000	千円 65,380,046	千円 2,101,046	% 103.3
一 日 平 均 売 上 高	千円 376,661	千円 389,167	千円 12,506	% 103.3
開 催 事 務 受 託 売 上 金 額	千円 6,069,000	千円 5,794,949	千円 △274,051	% 95.5
場間場外発売事務受託売上金額	千円 13,716,000	千円 14,598,050	千円 882,050	% 106.4

(単位:千円)

決算額 (B)	翌年度繰越額 (C)	差引過不足(△)額 (B) + (C) - (A)	収入率 (B) / (A)	備 考
69,833,890	—	△115,231	99.8%	

(単位:千円)

決算額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (B) / (A)	備 考
65,113,131	—	1,487,232	97.8%	

4,720,759	—	1,372,001		
-----------	---	-----------	--	--

(単位:千円)

決算額 (B)	翌年度繰越額 (C)	差引過不足(△)額 (B) + (C) - (A)	収入率 (B) / (A)	備 考
—	—	—	—	

(単位:千円)

決算額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (B) / (A)	備 考
5,428,262	977,282	359,299	80.2%	

4,570,000千円、損益勘定留保資金等858,262千円で補てんした。

2. 重要施策の実施状況

() 内は令和5年度の決算額で、令和6年度の重要施策体系に基づき集計

★は令和6年度の新たな取組み

(1) 中小企業振興施策の総合的かつ計画的な推進

181,003,166 千円
(202,068,486 千円)

中小企業の主体的な取組みを地域社会全体でバックアップし、中小企業の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「第2次みんなで応援！中小企業元気都市プラン」に基づき、中小企業の更なる振興に取り組んだ。

① 中小企業の経営基盤の強化と持続的発展の促進

172,127,461 千円
(195,060,897 千円)

ア 経営相談・助言及び資金供給の円滑化

171,612,578 千円
(194,478,080 千円)

中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化を図るため、十分な融資枠を確保するとともに、厳しい経営環境を踏まえた融資制度の円滑な運用や、経営相談・助言等により事業者の経営の安定と持続的発展に向けた取組みを支援した。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取組み	成果・実績
商工金融資金	169,380,000	中小企業の資金調達を支援し、経営を安定させるため、低利・固定による融資を実施	・融資枠 3,979億円確保 (5年度：4,530億円) ・融資残高：3,070億円、30,751件 (5年度：3,559億円、31,622件)
金融対策	1,447,713	融資の際に信用保証協会に支払う保証料の一部を市が助成し、利用者の借入時の負担軽減を図るとともに、代位弁済への補助を行うことにより利用者の円滑な借入を支援	・新規貸付：361億円、3,909件 (5年度：556億円、4,515件)
経営相談・診断助言	3,788	○中小企業が抱える経営、金融等の様々な課題に専門家が相談対応 ○専門家派遣による診断助言等実施	・相談件数：3,784件 (5年度：7,517件) ・派遣実績：5社、17件 (5年度：5社、13件)
燃料費等高騰の影響を受けた事業者支援	760,132	原油価格・物価高騰により影響を受けた市内中小企業等の事業継続と雇用を支えるため、価格高騰の影響が大きい燃料費及び光熱費の価格高騰分について支援	・支援件数：6,764件 (5年度：14,167件)

イ 販路拡大及び生産性向上の促進

47,306 千円
(119,607 千円)

中小企業の販路拡大及び生産性向上の促進を図るため、デジタル化の必要性等をテーマとしたセミナーやデジタルを利活用する力を養う人材育成講座、専門家の伴走による導入サポートにより、中小企業のデジタル化を支援した。

また、中小企業の脱炭素化を促進するため、カーボンゼロ商品創出に向けたアイデアソンの開催や商品・サービス開発のための専門家派遣など、脱炭素経営の実現に向けた支援に取り組んだ。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取組み	成果・実績
デジタル・IT活用による生産性向上のためのトータルサポート	13,489	デジタル化の必要性等をテーマとしたセミナーやデジタルを利活用する力を養う人材育成講座、専門家の伴走による導入サポートにより、中小企業のデジタル化を支援。 【目標】 - 経営層対象経営セミナー参加者数300人以上 - 養成講座60社 - 専門家による個別支援20社	- 経営層向けセミナー参加者数：348人 - 養成講座参加社数：64社 - 専門家による個別支援社数：20社
★福岡発カーボンゼロ商品創出支援	8,585	カーボンゼロ商品創出に向けたアイデアソンの開催や商品・サービス開発のための専門家派遣等を実施	- 脱炭素経営セミナー：448人 - アイデアソン：4回 - カーボンゼロ商品開発支援：5社

ウ 人材確保・就労の支援

75,308 千円
(73,568 千円)

各区の就労相談窓口で、ミドル世代を含む求職者に対し個別相談による支援や求人開拓、職業紹介を行うとともに、採用ノウハウ向上に関する企業向けセミナーの開催等により、求職者の就労と地場企業の人材確保を支援した。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取組み	成果・実績
就労相談窓口事業 及び ミドル世代就職支援事業	55,034 〔うち ミドル世代 就職支援事業 13,943〕	○各区に設置している就労相談窓口において、担当制による寄り添い型の就労支援等を実施 ○オンライン相談やミドル世代専用の相談窓口を設け、きめ細かな支援を実施	・就職決定件数：311件 (5年度：314件) ・相談件数：3,690件 (5年度：3,590件) ・新規相談者数：460人 (5年度：511人) [うちミドル世代] ・就職決定件数：97件 (5年度：107件) ・相談件数：1,183件 (5年度：1,245件) ・新規相談者数：144人 (5年度：154人)
中小企業採用ノウハウ向上支援	7,809	中小企業の効果的な採用活動を支援するため、採用戦略策定や担当者育成の重要性をテーマとした経営層向けセミナーと、採用活動の向上に資する従業員向け勉強会などを実施 【目標】 ・経営層向けセミナー参加者：300人 ・採用担当者向け勉強会参加者：300人	・経営層向けセミナー参加者数：171人 ・採用担当者向け勉強会参加者数：169人
生産性向上のための人材育成事業（デジタル・IT活用による生産性向上のためのトータルサポートに統合）	9,182	デジタル化の必要性等をテーマとしたセミナーやデジタルを活用する力を養う人材育成講座、専門家の伴走による導入サポートにより、中小企業のデジタル化を支援。 【目標】 ・経営層対象経営セミナー参加者数300人以上 ・養成講座60社 ・専門家による個別支援20社	・経営層向けセミナー参加者数：348人 ・養成講座参加社数：64社 ・専門家による個別支援社数：20社

エ 商店街の振興

331,416 千円

(339,946 千円)

商店街を担う人材を育成し、課題解決に向けたチャレンジを支援したほか、商店街が主体となり、自主的に取り組む集客力向上等のためのソフト事業全般を支援した。

また、商店街の新たな賑わいの創出を図るため、商店街周辺の観光施設等との連携や、個々の商店街の特性と課題に応じた魅力向上につながる取組みを支援した。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取組み	成果・実績
商店街地域観光連携事業	34,121	令和5年度に策定した事業計画に沿って、商店街への案内機能の強化や商店街の魅力発信などの支援を実施	(魅力発信) ・エリアマップの発行(12.7万部製作) ・PRショート動画の配信(PV30万増) ・デジタルスタンプラリー(参加者1,070名) (案内機能の強化) ・案内サイン看板の設置(4基) ・大濠公園駅構内の案内広告掲出
商店街魅力向上支援事業	10,606	「がんばる商店街」の魅力向上に効果的な支援策につなげていくため、選定した商店街に委託事業者を派遣し、魅力向上に向けた計画策定の支援を実施	公募により、申込みのあった下記2商店街について、魅力向上計画を策定。 ・サザエさん商店街通り連合会(早良区) ・福岡ウエストコースト商工連合会(西区)
商店街プレミアム付商品券事業	268,652	地域経済の活性化に向けた消費喚起と物価高騰対策として、商店街プレミアム付商品券発行を支援	・支援件数:40団体 申請:61商店街、使用可能:73商店街 (5年度) ・支援件数:49団体 申請:72商店街、使用可能:79商店街
商店街チャレンジ応援プロジェクト	6,453	○商店街を担う人材の育成を目的とした勉強会を開催 ○商店街の課題解決に向けた企画の事業化を支援	○人材育成事業参加者:35人 ○3つの企画実施を支援 ・高校生×商店街クリスマスイベント ・ウィキペディアタウン ・学生と連携したマルシェ

オ 伝統産業・技能の振興

60,853 千円

(49,696 千円)

博多織や博多人形など、福岡市の伝統工芸品を「はかた伝統工芸館」においてPRしたほか、ホテル・レストランなどでの伝統工芸品の利用促進等を通して、インバウンドを含めた販路拡大を支援した。

また、小学生のものづくり体験講座、中高生を対象とした技能職体験等や、博多マイスターによる技能継承により、技能職の認知度の向上や後継者発掘に努め、技能の振興を図った。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取組み	成果・実績
はかた伝統工芸館管理運営	28,023	はかた伝統工芸館を活用し、伝統工芸品の展示・販売・情報発信等を実施 【目標】 ・来館者数:125,000人	・来館者数:91,755人 (5年度:88,966人)
伝統産業によるインバウンド観光消費拡大事業	15,956	インバウンド等の観光客向けに市内ホテルや飲食店等の施設で伝統工芸品の使用体験を実施	・展示販売連携:5事業者 ・使用体験連携:4事業者 ・工芸体験コンテンツ造成:博多織・博多人形・博多曲物各1種 ・国内、海外プロモーション実施
技能振興支援事業	2,545	将来の仕事として関心を持てるよう、小学生のものづくり体験講座や、中高生を対象とした技能職体験等を実施 【目標】 ・小学生及び中高生ものづくり体験講座実施人数:500人	・小学生ものづくり体験講座実施人数:383人(5年度:404人) ・中高生技能職体験実施人数:99人(5年度:78人)

② 多様で活力ある成長発展の促進

4,860,533 千円
(4,020,434 千円)

ア 創業及び第二創業の支援並びに経営の革新

707,984 千円
(458,280 千円)

官民共働型スタートアップ支援施設を拠点に、創業の裾野の拡大や、スタートアップ企業のグローバル化、スケールアップなどを後押しするとともに、社会課題解決に取り組むソーシャルスタートアップの創出・成長や既存中小企業の第二創業を促進した。

また、スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略等の国の施策に、福岡市独自の施策を合わせ、政策パッケージとして、創業支援に取り組んだ。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取組み	成果・実績
スタートアップ支援施設事業	429,282	民間事業者のアイデアやノウハウを活かした官民共働型のスタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」とスタートアップカフェの運営を一体化し、スタートアップの創業から成長まで一気通貫で支援 【目標】 ・相談件数：3,500件 ・Fukuoka Growth Nextが支援したスタートアップの資金調達額：100億円	・相談件数：5,125件 (5年度：4,117件) ・Fukuoka Growth Nextが支援したスタートアップの資金調達額：82億円
国家戦略特区推進に関する総合経費	13,271	○創業者の人材確保を支援するため、人材マッチングセンター等を運営 ○開業手続きに関する申請や相談のワンストップ体制を運営	○創業者の人材確保を支援するため、人材マッチングセンター等を運営 ○開業手続きに関する申請や相談のワンストップ体制を運営
グローバルスタートアップ推進事業	109,208	○海外スタートアップ拠点との連携を活かした国際ビジネスマッチングイベントの開催や、海外進出を目指すスタートアップを対象とした海外展開支援プログラムの実施等により、グローバルに活躍できる創業の環境づくりを推進	・参加・開催した主なイベント：9件 (5年度：11件) ・海外研修への参加者数：52名 (5年度：47名)
スタートアップ拠点都市形成事業	31,428	国が実施する「スタートアップ拠点都市」関連事業を活用し、スタートアップ企業の成長を支援	・研究開発型スタートアップ成長支援事業支援件数：4件(5年度：4件)
IPO等に向けた成長支援プログラム	28,528	新規上場を目指すスタートアップ企業の経営に関する現状分析・課題抽出を行い、成長に向けた経営課題の解決を支援	・支援件数：6件(5年度：2件)
特定創業支援事業利用者への支援	25,415	国の特定創業支援事業を活用して登録免許税半額軽減を受けた者に対し、市独自で残りの半額相当額を支援 【目標】 ・支援件数：230件	・支援件数：257件(5年度：255件)
★ソーシャルスタートアップ成長支援事業	29,521	ふるさと納税制度を活用し、社会課題解決を目指すスタートアップの経営基盤強化にかかる取組みを支援	・採択件数：10件
★若年層(小中学生)の起業家マインド向上事業	19,518	スタートアップエコシステムに不可欠な次世代の起業家を育成するため、小中学生を対象としたオープンイノベーションや起業を体験する場を創出し、起業家マインドの向上を促進	・参加者数：132名

イ 研究開発、技術革新及び事業化の促進

737,212 千円
(320,132 千円)

研究開発、技術革新を促進するため、大学や研究機関の集積による豊富な人材と技術を活かし、産学連携交流センターを含む九大新町において、九州大学と連携した研究開発拠点の機能強化を図るとともに、大学の研究シーズを活用した事業化の支援に取り組んだ。

また、公民連携ワンストップ窓口「mirai@」（ミライアット）を通して、民間企業等の提案を支援することにより、社会実装を促進し、社会課題の解決等に取り組んだ。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取り組み	成果・実績
九大新町における研究開発拠点の形成	108,642	産学連携による共同研究・開発の促進のため、レンタルラボ・オフィスを提供	・産学連携交流センター入居率：95.5% (5年度：100%)
大学のまちづくり	5,351	産学官連携による「大学のまち福岡」の魅力向上及び情報発信 【目標】 ・ホームページアクセス数 ：180,000件/年	・ホームページアクセス数：196,184件 (5年度：220,201件)
mirai@関連事業	2,177	「mirai@」を通して、企業等の持つ先端技術やアイデアを活用した実証実験などの提案を支援し、社会実装を促進	・提案実現・採択件数：23件 (5年度：18件)

ウ 新産業及びクリエイティブ関連産業の振興

940,857 千円

(667,359 千円)

エンジニアカフェを中心に国内外の優秀なエンジニアが集まる環境を創出し、エンジニアによって生み出される新サービス等を通して経済成長や市民生活の向上を図るため、「エンジニアフレンドリーシティ福岡」の取組みを推進した。

また、先端科学技術分野の振興や企業のDX促進、グリーンイノベーションの推進に取り組んだ。

さらには、水素関連産業の振興を図るため、下水バイオガス由来の水素ステーションの運営やFCモビリティの導入促進、まちづくりへの水素実装など、「水素リーダー都市プロジェクト」の取組みを推進した。

加えて、ゲームや音楽、映像などクリエイティブ関連産業において、ビジネス拡大や人材育成等を支援するとともに、クリエイティブ・フェスタを開催し、福岡フィルムコミッションの活動等と合わせて「クリエイティブ・エンターテインメント都市・ふくおか」の都市ブランド形成に取り組んだ。

＜主な事業＞

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取組み	成果・実績
エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進	98,693	エンジニアカフェの運営、開発コンテスト等イベントや人材育成プログラムの実施、エンジニアビザ制度の運用	- 相談件数：517件（5年度：509件） - 来場者数：19,614人（5年度：21,409人）
九州先端科学技術研究所（ISIT）支援	259,585	ITやナノテクノロジー分野等の産学連携の推進及び地場企業等の技術力向上を支援	- ISITの国等プロジェクト新規獲得数：1件（5年度：2件） - 分析・解析よろず相談件数：403件（5年度：290件）
福岡グリーンイノベーションチャレンジ	12,535	中小企業等によるカーボンニュートラルに資する製品開発等を支援	福岡グリーンイノベーションチャレンジ事業支援数：4件（5年度：3件）
DX推進エコシステム形成事業	7,584	福岡DXコミュニティにおいて、事例発表交流会やアドバイザー派遣等を実施し、中小企業のDXを推進	新たにDXに取り組み始めた中小企業（ユーザー企業）：4社（5年度：5社）
水素リーダー都市プロジェクトの推進			
水素ステーションの運営等	91,732	下水バイオガス由来の水素ステーションの運営等を実施	- 営業日数：160日（5年度：162日） - FCV等への水素充填実績 充填台数：1,434台（5年度：452台） 充填量：5,139kg（5年度：1,514kg）
FCモビリティの導入等	80,762	Moving e等を活用した水素の普及啓発に取り組むとともに、関連局と連携してごみ収集車の運用及び救急車の実証等を実施	- Moving e等を活用した水素の普及啓発件数：34件（5年度：33件） - FC給食配送車3台の運用 - FCごみ収集車1台の運用（環境局予算） - FC救急車1台の実証（消防局予算）
まちづくりへの水素実装	231,175	九州大学箱崎キャンパス跡地において、水素供給パイプラインを整備するとともに、水素ステーションの整備に向けた検討等を実施	- 都市計画道路区間における水素供給パイプラインの整備完了 - 水素ステーションの整備に向けた事業手法等の検討を実施
クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業	87,227	○産学官で構成する「クリエイティブ福岡推進協議会」において、セミナー・交流会等による異業種交流の場を創出 ○アジアとクリエイティブをテーマとした各種事業を「アジアンパーティ」として開催	- セミナー・交流会の開催 回数：6回（5年度：6回） 参加人数：775人（5年度：344人） - クリエイティブフェスタ「The Creators」入場者数：55,000人（5年度：80,000人） - アジアンパーティ ：32事業、約57万人（5年度：21事業、約41万人）

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取り組み	成果・実績
クリエイティブ関連産業の振興	35,310	「福岡ゲーム産業振興機構」において、人材育成事業等を実施 【目標】 ・ゲーム関連企業数：38社 ・ゲーム関連企業従事者数：2,800人	・ゲーム関連企業：38社 （5年度：37社） ・ゲーム関連企業従業者数：2,642人 （5年度：2,622人）
eスポーツビジネス創出事業	1,000	「福岡eスポーツ協会」において、ゲーム関連産業等の新たなビジネス展開を促進するため、ビジネスマッチング等を実施	・セミナー・交流会の開催：3回 （5年度：2回） ・参加人数：60人（5年度：54人）
音楽都市振興事業	12,843 〔うち 商工費 5,429〕	「福岡音楽都市協議会」において、WEBメディアによる市内音楽関連情報の発信、業者間・異業種交流会や音楽関連人材の育成事業を実施	「福岡音楽都市協議会」において、WEBメディアによる市内音楽関連情報の発信、業者間・異業種交流会や音楽関連人材の育成事業を実施
フィルムコミッション事業	3,691	映画やドラマなどのロケ誘致・支援を通して、地元映像産業の振興を図るとともに、福岡を国内外に発信する事業を実施	・撮影支援件数：89件 （5年度：108件） ・ロケ支援事業者登録者数：364社 （5年度：334社）
メタバースを活用したクリエイティブ関連企業支援	4,700	メタバース等を活用した事業を行う事業者に対し、新たなビジネス機会創出及びクリエイティブ関連産業の活性化を促進するため、コンテンツの制作にかかる事業費の一部を支援	・支援件数：4件

エ 企業立地及び産業集積の促進並びに国際金融機能の誘致

2,411,918 千円

(2,510,095 千円)

立地交付金制度や地方拠点強化税制を活用し、本社機能や情報関連産業・デジタルコンテンツ等の知識創造型産業をはじめ成長性が高い分野の企業誘致を推進した。

また、外国企業に対する情報発信や福岡進出サポートを行うとともに、海外向けのシティセールス、外国経済団体や海外諸都市との連携等により、外国企業の誘致を進めた。

さらには、産学官が一体となった国際金融機能誘致の推進組織「TEAM FUKUOKA」の一員として、外資系金融機関等を対象としたプロモーション、国際金融に対応したワンストップサポート窓口の運営や地場企業と海外投資家のマッチング事業等を実施し、国際金融機能の強化を図った。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取組み	成果・実績
企業立地促進制度の実施	2,347,569	立地交付金制度等を活用し、国内外からの企業立地を促進 【目標】 ・成長分野・本社機能の進出企業数：55社/年（うち外国企業等17社）	○交付金適用数：34社（5年度：30社） ○成長分野・本社機能の進出企業数：55社（うち外国企業等10社）（5年度：62社（うち外国企業等16社））
重点分野の企業誘致推進事業	9,069	○アジア地域を中心に各都市の特性に合わせた経済交流・企業発掘・オンラインを活用した進出サポート等の展開 ○魅力的な企業の立地や、クリエイティブ人材の集積に寄与することを目的とした情報発信を実施	○進出サポート等を行った外国企業・団体等数：249件（5年度：444件） ○外部メディア等を活用した情報発信を実施
国際金融機能誘致推進事業	9,200	外資系金融機関等の拠点設立のサポートをワンストップで行う相談支援窓口の運営、地場企業と海外投資家のマッチング事業等を実施	・進出企業数：10社（5年度：7社） ・ワンストップサポート窓口相談件数：71件（5年度：34件） ・地場企業と海外投資家のマッチング：24件（5年度：26件）
★金融機関向けプロモーション	7,135	BCP拠点の誘致を目的とした首都圏における金融機関向けセミナーの開催	○金融機関向けセミナー 参加者数：38人
外資系金融機関等の誘致推進	32,119	外資系金融機関等を対象としたプロモーションや、進出意欲のある海外企業の現地訪問を行うとともに、アンバサダーのネットワーク等を通じた誘致活動を実施	○台湾の半導体企業及び金融機関の福岡進出 ○ベトナムにおける企業誘致セミナーの開催 参加人数：133人 ○台湾における企業誘致セミナーの開催 参加人数：99人

オ 海外市場へのビジネス展開の促進

62,562 千円

(64,568 千円)

食関連産業やグリーンテック分野などを中心に地元経済団体等と連携し、地場中小企業の海外販路拡大や外国企業とのビジネス連携促進を図るとともに、アジア経済交流センターにおいて、貿易実務やグローバル人材育成等の支援を行った。

また、姉妹都市との交流や上下水道・環境分野での国際貢献の取組みを通して築いた関係を活かしながら、企業の販路拡大や新たなビジネス創出につながる取組みを進めた。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取組み	成果・実績
アジアビジネス促進・支援事業	9,792	○地場企業の海外販路拡大や外国企業との連携を支援 ○民間企業主体の協議会の運営を支援し、展示会への共同出展等を通して、「福岡・九州の食」の海外でのブランド化を推進 【目標】 ・商談件数：800件	・商談件数：898件（５年度：846件）
アジア経済交流センター等事業	27,000	（公社）福岡貿易会において、オンライン等も活用しながら、地場中小企業の貿易実務やグローバル人材育成等を支援	・グローバル人材育成事業受講者数：1,621人（５年度：1,621人）
フードエキスポ九州	2,000	地元経済団体と連携して福岡・九州の食の魅力を世界に発信し、存在感や競争力を強化するとともに、海外展開を含めた販路拡大を通して食産業の更なる成長を促進	・商談件数：602件（５年度：507件）
グリーンテックビジネス海外展開事業	12,118	海外展示会への共同出展等を通じた、グリーンテック関連の地場企業の海外ビジネス展開を支援	・地場企業のビジネス案件形成を支援 ・ベトナムで開催の国際展示会に共同出展（参加企業数：５社）

③ 観光・MICEの振興

4,015,172 千円
(2,987,154 千円)

ア 九州のゲートウェイ都市機能強化

1,770,315 千円
(1,618,926 千円)

グローバル都市としてのゲートウェイ機能を高めるため、MICE施設の機能強化のほか、来訪者の利便性向上、回遊の円滑化等による都市機能の強化に取り組んだ。
また、西日本・九州の自治体等と連携した西のゴールデンルートの取り組みや質の高い観光コンテンツの開発等により、付加価値の高い観光誘客を推進した。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取り組み	成果・実績
観光・MICE施設をはじめとする都市機能強化			
国内を代表するMICE拠点の形成	814,324	MICEの需要やトレンドを踏まえた機能強化に向けた検討等を実施	○マリンメッセ福岡の周辺環境整備やパブリックアートの設置 ○MICE機能強化に向け検討を実施
MICE施設維持	520,915	長期修繕計画に基づくマリンメッセ福岡A館の修繕等を実施	マリンメッセ福岡A館第2駐車場舗装工事等を実施
新たな誘客の開拓			
デジタルマーケティング回遊分析	40,242	国内外来訪者の行動や属性、消費傾向を分析・可視化し、観光関連事業者へ情報発信等を実施	○ビッグデータを活用し、イベント時における国内外来訪者の行動や属性等の分析を実施 ○観光関連事業者向けセミナーにおける情報発信：45名
デジタルマーケティング情報発信	62,976	福岡の認知度及び来訪意欲の向上を図るため、国内外に向けたWebプロモーション及び国内向け観光情報サイトの再構築を実施	○海外向け観光ホームページを運用 ○国内外向けWebプロモーションを実施 ○観光情報サイト「よかなび」のリニューアル
高付加価値旅行の推進による誘客事業	47,765	高付加価値旅行のプロモーションや特別な体験型旅行商品の造成等を実施	○付加価値の高い体験型旅行商品を造成（7商品） ○欧米豪の高付加価値旅行者層向け旅行会社に対する商談（商談数：44社）
福岡型ワーケーション推進事業	41,458	長期滞在を推進するため、国内向けのプロモーションや、海外のリモートワーカー誘客に向けたイベント等を実施	・イベントの開催：参加者436名 （内、海外45ヵ国・地域より226名）
市発着の九州周遊観光の推進			
広域連携誘客事業	78,598	西日本・九州の自治体等と連携した西のゴールデンルートの取り組み等を通して、付加価値の高い周遊観光を推進	○ウェブ等の活用による魅力の発信及び誘客を促進（対象市場：香港、台湾、タイ、欧米豪） ○西日本・九州の自治体等と連携した「西のゴールデンルート」の総会やプロモーション等を実施
修学旅行による都市圏周遊の推進	49,057	修学旅行への支援や情報発信等により周遊観光を推進	・貸切バス代支援：698台（5年度：542台） ・体験学習プログラム参加費支援：13,262人（5年度：13,714人）

イ MICE都市としてのプレゼンス向上

234,741 千円
(285,087 千円)

多様な国・地域の食文化やSDGsへの対応など受入環境の充実を図りながら、都市のプレゼンス向上につながる国際会議やビジネス機会の創出につながる展示会など質の高いMICEの更なる誘致強化に取り組んだ。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取組み	成果・実績
M I C E誘致強化とビジネス機会の創出			
M I C E誘致強化事業	64,980	「Meeting Place Fukuoka」の体制を強化し、海外からの参加者増加やビジネス機会の創出につながるM I C Eの誘致強化等を実施	・シンガポールで、現地のM I C E関係者を対象としたセミナーを実施：32社39名参加 ・国際見本市・商談会等に参加：10件 （5年度：8件）
M I C E支援事業	103,066	M I C E主催者の多様なニーズに合わせた開催支援策の充実を図り、誘致競争力向上に向けた取組みを実施	・コンベンション開催助成金：46件 （5年度：32件） ・ミーティング・インセンティブツアー開催支援助成金：16件（5年度：19件）
M I C Eにおける受入環境の充実			
食のユニバーサル対応推進事業	22,131	訪日外国人の多様な食文化に対応するため、飲食店向けメニュー開発支援によるヴィーガン対応店舗の拡充や情報発信を実施	・外国人観光客向け観光情報サイトへヴィーガン等対応店舗掲載：57店舗 ・食のイベント出展：2件
S D G sへの貢献と都市競争力の向上			
サステナブルツーリズム推進事業	26,509	観光関連事業者向けに、環境に優しいコンテンツ開発・導入に係るアドバイスやマッチング等を実施	・CO2排出量の削減を目指す宿泊施設等への支援：80件（5年度：30件）

ウ 地域や市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進

2,010,116 千円

(1,083,141 千円)

自然や歴史、伝統文化などの観光資源を活かし、地域の魅力向上や回遊促進を図るため、博多旧市街や福岡城・鴻臚館におけるコンテンツの創出や受入環境の整備、海辺を活かした観光振興等に取り組み、来訪者の満足度を高めつつ、市民生活の向上に資する持続可能な観光を推進した。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業	内容
		主な取り組み	成果・実績
地域資源等を活用した観光振興			
福岡城・鴻臚館における観光振興事業	96,086	福岡城への観光集客向上を図るため、天守閣ライトアップや来訪者の受入環境整備等を実施	○福岡城「春の天守閣」ライトアップを実施（実施期間：令和7年3月7日～令和7年4月6日） ○石垣の総合案内板設置
博多旧市街プロジェクト	47,991	博多旧市街の認知度向上を図るため、飲食店等と連携した博多旧市街フェスティバルの開催や、歴史・伝統文化の体験や観光情報発信機能等を備えた観光拠点の検討を実施	○博多旧市街フェスティバルの実施 ○観光拠点整備に係る課題整理や方向性検討を実施
市街化調整区域における観光振興	439,131	志賀島・北崎地区において、観光周遊促進に向け、レンタサイクル導入支援、市営渡船と連携した集客促進、立ち寄りスポットの整備等を実施するとともに、早良南部地区の観光の魅力発信等を実施	○志賀島・北崎地区におけるレンタサイクル導入支援を実施 ○志賀島地区における市営渡船と連携した集客促進イベントを開催 ○北崎地区における立ち寄りスポットの整備を実施
★夜の文化・エンタメ集客事業	83,841	観光客の夜間滞在等の促進を図るため、夜間の集客イベントやライトアップを実施するほか、イベント等の開催状況と予約情報の一元的発信を実施	○福岡城・鴻臚館エリアにおいて光のイベントを開催 ○アジア美術館における夜間イベントを実施 ○夜間イベント情報の一元的発信と予約決済システムの導入支援を実施
持続可能な観光産業の形成			
宿泊事業者受入環境充実の支援	19,259	宿泊事業者によるインバウンド対応やデジタル化による生産性向上、人材確保等に向けた取り組みを支援する補助を実施	・補助件数：50件（5年度：53件）
観光と市民生活の調和			
観光地におけるマナー啓発・受入改善事業	6,872	交通結節点や公共交通機関、観光案内所等において、多言語に対応した動画によるマナー啓発等を実施	・外国人観光客向けマナー啓発映像の放映：22箇所
観光産業の活性化に向けた推進体制の強化	56,567	宿泊業界に特化した就職合同説明会開催や大学生への魅力発信、観光関連事業者のデジタル化支援等を実施	・就職合同説明会の開催（2日間）：参加事業者25社（延べ41社） ・Googleビジネスプロフィール導入・運用支援件数：102件（5年度：31件）
★観光への理解促進事業	17,578	観光・MICEによりもたらされる経済効果等を定量的に可視化し、観光関連事業者や市民に対する理解促進に向けた広報を実施	○観光・MICEの効果をわかりやすく伝えるためのリーフレット制作・配布及び観光情報サイトでの情報発信を実施
まち歩き観光振興事業	6,966	観光案内ボランティアガイドのスキルアップ（接遇・知識等）、新コース開発、安全安心に配慮した案内業務やまち歩き等を実施	○観光案内ボランティアによる観光案内：8,236名(748件）（5年度：8,867名(813件)） ○観光案内ボランティアガイドのガイド能力スキルアップ研修を実施（接遇・知識等） ○まち歩き新コースを開発

(2) 文化芸術・まつりの振興と文化財の保存・活用 (7,305,846 千円
6,280,464 千円)

ア 文化芸術の振興 (3,880,108 千円
2,437,444 千円)

市民の文化芸術の鑑賞・体験機会の創出や文化芸術活動者の育成・支援の充実を図るとともに、市民が身近にアートに触れる暮らしの推進やアーティストの成長支援を行う「Fukuoka Art Next」に取り組んだ。

また、文化施設の適切な管理運営等を行うとともに、建替え期を迎えた市民会館の機能を継承する福岡市民ホールの整備に向けた取組みを進めた。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取組み	成果・実績
Fukuoka Art Next（アートのまちづくり推進事業）			
アートイベント 「FaN Week」の開催	67,964	美術館やアジア美術館などを中心に、まちをアートで彩るアートイベント「FaN Week」を開催	・美術館でのコレクターズ展や、アジア美術館のベストコレクション展、Artist Cafe Fukuokaのレジデンス成果展などへの来場者数：28,762人（9/14-9/29(16日間)） （5年度：35,638人(37日間)）
アーティストの成長・交流拠点 「Artist Cafe Fukuoka」の運営	139,748	旧舞鶴中学校校舎を活用し、アーティストの成長・交流拠点「Artist Cafe Fukuoka」を運営	・相談対応や企業マッチング、作品制作や展示及び海外出展の機会提供、交流イベント等を実施 マッチング件数：33件 （5年度：48件）
子どもたちが アートを体験する 機会の創出	22,785	貸切バス代等の助成により、小学校を対象に美術館などでの対話型アート鑑賞体験を推進するほか、小学校への美術のアーティスト派遣を実施	・対話型アート鑑賞：4,250人(61校) ・アーティスト派遣：729人(15校)
子ども文化芸術事業	6,874	小学校に伝統文化、演劇、音楽等のアーティストを派遣し、文化芸術を鑑賞・体験できる機会を創出 【目標】参加者数：5,500人	・参加者数：6,505人（69校） （5年度：6,786人（66校））
文化芸術活動者等の活動支援	9,909	文化芸術活動者等の活動経費の助成やアドバイザーによる助言、広報等の支援を実施するほか、福岡市民芸術祭を開催 【目標】 ・活動経費助成件数：20件 ・市民芸術祭参加行事数：100行事	・活動経費助成件数：14件 （5年度：21件） ・市民芸術祭参加行事数：128行事 （5年度：106行事）
拠点文化施設整備事業（市民会館の再整備）	2,047,798	令和7年3月の開館を目指し、施設整備や開業準備業務を実施	・令和7年3月に福岡市民ホール及び須崎公園（1期）の供用を開始
文化施設の管理運営	1,279,399	博多座等の管理運営とともに、計画的な維持補修を実施	・博多座入場者数：392,198人 （5年度：385,184人） ※市民檜舞台の月を除く ・市民会館稼働率（大ホール）：74.7% （5年度：76.1%） ・音楽・演劇練習場稼働率 千代：80.1%（5年度：77.3%） 祇園：85.8%（5年度：79.9%） 塩原：88.8%（5年度：86.0%） 千早：93.6%（5年度：90.4%） ・福岡サンパレス稼働率（大ホール）：77.5% （5年度：82.2%）

イ まつりの振興と屋台の魅力向上

174,251 千円
(189,464 千円)

「博多どんたく港まつり」や「博多祇園山笠」をはじめ、福岡・博多を代表するまつりの魅力を発信するとともに、屋台について、観光資源としての効用をさらに発揮していけるよう、魅力向上に取り組んだ。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取組み	成果・実績
祭り振興事業	89,244	本市を代表する伝統文化や本市の経済振興に寄与する大規模な祭りなどへの各種支援事業を実施	- 観客動員数（主催者発表） 博多どんたく港まつり：約230万人 （5年度：約210万人） - 博多祇園山笠：約300万人 （5年度：約300万人）
屋台の魅力向上事業	2,877	屋台営業候補者の公募や、観光情報サイト「よかなび」での情報発信等を実施	- 屋台営業候補者の決定：6人 - よかなび特集記事：3本
屋台プロモーション事業	12,992	観光客の利便性向上のため、屋台の魅力や楽しみ方などの情報発信を実施	福岡空港国際線ターミナルの観光案内所への屋台の楽しみ方やマナーをお伝えする案内人の配置、外国語版屋台リーフレットの制作・配布等、主に外国人観光客向けの情報発信を実施 観光案内所での屋台案内件数：5,987件 (R6.7～R7.3)

ウ 美術館・博物館の魅力及び機能の充実

2,156,215 千円

(1,765,865 千円)

美術館、アジア美術館、博物館において、所蔵品の充実や魅力ある展覧会を開催するとともに、子どもたちがアートや歴史文化に触れる機会の充実等の取組みを進めた。

また、アジア美術館において、警固公園の地下を有力候補として、施設拡充の調査検討を行うとともに、博物館においては、収蔵庫棟の増築に着手し、リニューアルに向けた取組みを進めた。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取組み	成果・実績
Fukuoka Art Next（アートのまちづくり推進事業）			
アーティスト・イン・レジデンス事業	22,795	国内外のアーティストを一定期間招聘し、制作活動を支援するとともに、滞在制作や作品展示、ワークショップ等を通して、市民との美術交流を推進した 【目標】 招聘者数：9組	・応募者数：186組 ・招聘者数：9組10人 （5年度：8組9人）
福岡アートアワード	11,484	アーティストに贈賞するとともに、受賞者によるトークイベント等を開催 【目標】 応募者数：100件	・応募者数：62件 ・受賞者数：市長賞1名、優秀賞3名
展覧会の開催			
美術館	41,732	○ADAPTATION-KYNE ○キース・ヘリング展 アートをストリートへ ○博多のみほとけ展 【目標】 施設利用者数：46万人	○観覧者数：34,846人 ○観覧者数：36,530人 ○観覧者数：8,453人 ・施設利用者数：667,556人 （5年度：564,691人）
アジア美術館	42,015	○開館25周年記念 アジアン・ポップ ○おいでよ！夏の美術館vol.1 エルマーのぼうけん展 ○開館25周年記念 ベストコレクションⅡ しなやかな抵抗 【目標】 施設利用者数：39万人	○観覧者数：39,297人 ○観覧者数：25,773人 ○観覧者数：41,408人 ・施設利用者数：380,306人 （5年度：427,858人）
博物館	39,837	○藤城清治 100歳 美しい地球 生きるよろこび 未来へ展 ○大哺乳類展—わけてつなげて大行進 ○大灯籠絵 ○九州真宗の源流 ○民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある 【目標】 施設利用者数：33万人	○観覧者数：45,567人 ○観覧者数：64,724人 ○観覧者数：7,829人 ○観覧者数：11,650人 ○観覧者数：13,138人 ・施設利用者数：330,827人 （5年度：565,312人）
子ども向け事業の推進	6,553	館内や学校などに出向いて講座を行う子どもを対象とした鑑賞・体験学習事業を実施 【目標】 (美術館) ・スクールツアー、ファミリーDAY、どこでも美術館等 ：65回、7,200人 (アジア美術館) ・スクールプログラム ：35回、2,100人 (博物館) ・出前学習、みんなのミュージアム等 ：135回、11,400人	(美術館) ・スクールツアー、ファミリーDAY、どこでも美術館等 ：65回、7,466人 （5年度：58回、6,886人） (アジア美術館) ・スクールプログラム ：61回、2,884人 （5年度：29回、2,154人） (博物館) ・出前学習、みんなのミュージアム等 ：141回、12,458人 （5年度：109回、9,698人）
アジア美術館の魅力向上の検討	29,091	アジア美術館の魅力向上に向けて、警固公園の地下を有力候補として、施設拡充の調査・検討を実施	拡充先について、複数の土地を評価比較した結果、警固公園地下を選定
博物館リニューアル推進事業	550,205	多様なニーズに対応できるよう、博物館の機能強化に向けて、今後のあり方について検討	収蔵庫棟の増築工事及び南側広場整備の実施設計等を実施

エ 文化財の保存・活用

1,095,272 千円
(1,887,692 千円)

福岡市の歴史資源や文化財を適正に保存・継承するとともに、市民や観光客等への積極的な魅力発信に取り組んだ。

また、観光・にぎわいの拠点として活用するため、福岡城・鴻臚館・元寇防塁等の史跡の整備推進や、歴史的建造物でのユニークベニユーなど多様な活用に取り組んだ。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業	内容
		主な取組み	成果・実績
文化財の保存・整備			
福岡城跡復元整備事業	238,362	歴史的景観の創出によりさらなる集客・魅力向上を図るため、潮見櫓の復元整備や石垣の保存修理等の実施	潮見櫓復元整備工事の完了及び鉄物櫓石垣保存修理にかかる実施設計を実施
鴻臚館整備・活用事業	116,613	歴史文化の発信、観光・MICEの拠点としての活用を目指し、鴻臚館東門や堀の一部の復元に向けた実施設計等を実施	鴻臚館東門や堀の一部の復元に向けた実施設計等を実施
史跡元寇防塁（箱崎地区）整備活用事業	9,655	箱崎地区元寇防塁がもつ歴史的ストーリーを伝えながら、誰もが歴史に触れ、憩うことができる整備案について検討を実施	箱崎地区元寇防塁南エリアの整備案の検討を実施
史跡環境整備	107,227	史跡の見学環境等の充実を図るための、整備・改修等を実施	板付遺跡や今津元寇防塁等において、環境整備や改修等を実施
埋蔵文化財センター整備事業	66,865	施設・設備の老朽化に伴い、令和10年度までの大規模改修工事を年次計画に基づき実施	屋上の防水工事および次年度の改修工事に係る実施設計等を実施
文化財の活用			
文化財を活用した魅力ある観光資源の創出・発信事業	31,485	歴史資源を活かした観光・MICE振興のため、文化財の魅力発信コンテンツ制作や観光案内機能の拡充、文化財のユニークベニユー活用支援を実施	文化財の魅力を発信するふくおか歴史文化遺産ウィーク実施のほか、市指定文化財である住吉神社能楽殿等でユニークベニユーを実施

(3) ボートレース事業の推進

※一般会計繰出金

4,570,000 千円

(4,000,000 千円)

P G I レディースチャンピオンなど年間192日のレースを開催するとともに、他場開催レースの発売を場内及び外向発売所で行い、約858億円の売上を確保し、45.7億円を一般会計に繰り出した。

また、ボートレース場の施設を有効活用し、多くの市民の方々に楽しんでいただける場の提供と新規顧客の獲得を図っていくため、ボートレースパーク化を進めた。

<主な事業>

事業名	決算額 (千円)	事業内容	
		主な取組み	成果・実績
売 上	85,773,045 <内訳> ・本市主催レース 65,380,046 ・開催事務受託レース 5,794,949 ・場外(受託)レース 14,598,050	○S G レース等全国発売レースの開催 (P G I レディースチャンピオン) ○薄暮レース開催拡充による 売上強化 ○S G 等グレードレース誘致への 環境整備	○P G I レディースチャンピオン 売上：98億円 ○薄暮レース開催日数131日 (5年度：123日) ○S G チャレンジカップ・ G II レディースチャレンジカップ 開催決定 (令和7年11月25日～30日)
ボートレースパーク 化の推進	25,300	○ボートレースパーク化に向けた事業者 公募を実施	○事業者と契約を締結
一般会計繰出金	4,570,000	【目標】 ○繰出金45.7億円を目標に事業運営	○45.7億円を一般会計に繰り出し (5年度：40億円)

3. 款項目別決算資料

(1) 一般会計 (歳 入)

ペ ー ジ		款 ・ 項	目	予 算 現 額				調定額 (B)
決 算 事項別 明細書	主要施 策成果 説明書			当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	計 (A)	
16 ↳ 17	8	(17)分担金及び負担金						
		1. 負担金	5. 経済観光文化費 負担金	29,113	—	—	29,113	29,114
22 ↳ 25		(18)使用料及び手数料						
		1. 使用料	6. 経済観光文化 使用料	367,408	—	—	367,408	346,099
30 ↳ 31		2. 手数料	6. 経済観光文化 手数料	7,036	—	—	7,036	6,484
38 ↳ 41		(19)国庫支出金						
		2. 国庫補助金	6. 経済観光文化費 国庫補助金	569,906	—	9,472	579,378	419,312
42 ↳ 45			12. 緊急経済対策費 国庫補助金	104,247	1,133,572	200,000	1,437,819	383,363
48 ↳ 51		(20)県支出金						
		2. 県補助金	6. 経済観光文化費 県補助金	301,911	—	1,157	303,068	208,122

(単位:千円)

収入済額 (C)	不 納 欠損額 (D)	収 入 未済額 (B)-(C)-(D)	翌年度 繰越額 (E)	差 引 過不足(△)額 (C)+(E)-(A)	説 明
29,114	—	—	—	1	観光施設費負担金 29,114
345,818	253	28	—	△21,590	1. 姪浜買物広場占用料 25 2. 産学連携交流センター使用料 85,832 3. はかた伝統工芸館使用料 132 4. 市民会館使用料 56,530 5. 音楽・演劇練習場使用料 51,992 6. 博多座使用料 8,046 7. 経済観光文化施設使用料 28,951 8. 美術館使用料 43,215 9. アジア美術館使用料 27,862 10. 博物館使用料 39,905 11. 赤煉瓦文化館使用料 1,382 12. 生の松原元寇防塁駐車場使用料 1,947
6,484	—	—	—	△552	1. 計量器検査等手数料 6,456 2. 美術館資料撮影等手数料 — 3. アジア美術館資料撮影等手数料 12 4. 博物館資料撮影等手数料 8 5. 図書資料複写手数料 6 6. 窓口相談業務従事証明書等手数料 1
419,312	—	—	—	△160,066	1. 文化事業費補助金 101,500 2. 文化財保存事業費補助金 255,618 3. 文化芸術振興費補助金 6,128 4. 商工業振興費補助金 51,066 5. 観光費補助金 5,000
383,363	—	—	1,130,924	76,468	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 383,363
208,122	—	—		△94,946	1. 福岡県文化財保護事業補助金 2,118 2. 福岡県利子補給補助金 206,004

ペー ジ		款 ・ 項	目	予 算 現 額				調定額 (B)
決 算 事項別 明細書	主要施 策成果 説明書			当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	計 (A)	
52 ↳ 55	8	3. 委託金	5. 経済観光文化費 委託金	14	—	—	14	5
54 ↳ 59		(21) 財産収入 1. 財産運用収入	1. 財産貸付収入	148,476	—	—	148,476	116,173
			2. 利子及び配当金	9,670	1,395	—	11,065	22,638
60 ↳ 61		2. 財産売払収入	2. 物品売払収入	8,495	—	—	8,495	8,831
60 ↳ 63		(22) 寄附金 1. 寄附金	6. 経済観光文化費 寄附金	277,420	—	—	277,420	321,162
66 ↳ 67	9	(23) 繰入金 13. 音楽産業振興 基金繰入金	1. 音楽産業振興 基金繰入金	5,500	—	—	5,500	5,500
66 ↳ 67		14. 観光振興基金 繰入金	1. 観光振興基金 繰入金	27,280	—	—	27,280	—

(単位:千円)

収入済額 (C)	不 納 欠損額 (D)	収 入 未済額 (B)-(C)-(D)	翌年度 繰越額 (E)	差 引 過不足(△)額 (C)+(E)-(A)	説 明
5	—	—	—	△9	1. 権限移譲事務費委託金 5
116,173	—	—	—	△32,303	1. 土地貸付収入 101,102 2. 建物等貸付収入 15,071
22,638	—	—	—	11,573	1. 音楽産業振興基金利子収入 164 2. 観光振興基金利子収入 6,093 3. 福岡城整備基金利子収入 981 4. 株式会社博多ステーションビル出資金配当金 1,400 5. 博多バスターミナル株式会社出資金配当金 4,000 6. 福岡タワー株式会社出資配当金 10,000
8,831	—	—	—	336	物品売払収入 8,831
321,162	—	—	—	43,742	1. 音楽関連産業の振興に対する寄附金 19,350 2. 伝統産業の振興に対する寄附金 4,645 3. 創業支援に対する寄附金 10,800 4. ソーシャルスタートアップ支援に対する寄附金 29,982 5. エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進に対する寄附金 7,078 6. 就労相談窓口事業に対する寄附金 100 7. コンベンション事業に対する寄附金 170,000 8. 子どもの文化芸術体験や活動者支援に対する寄附金 3,773 9. 祭りの振興に対する寄附金 9,398 10. 屋台の魅力発信に対する寄附金 13,762 11. 美術館事業に対する寄附金 21,700 12. アジア美術館事業に対する寄附金 4,250 13. 博物館事業に対する寄附金 9,263 14. 福岡城整備事業に対する寄附金 14,981 15. 文化財の保存・継承支援に対する寄附金 2,080
5,500	—	—	—	—	音楽産業振興基金受入金 5,500
—	—	—	—	△27,280	観光振興基金受入金 —

ページ		款　・　項	目	予　算　現　額				調定額 (B)
決　算 事項別 明細書	主要施 策成果 説明書			当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	計 (A)	
66 ↳ 67	9	15. 福岡城整備基金 繰入金	1. 福岡城整備基金 繰入金	24,000	—	—	24,000	24,000
68 ↳ 69		22. 港湾整備事業特別 会計繰入金	1. 港湾整備事業特別 会計繰入金	697,926	—	—	697,926	—
70 ↳ 71		(25) 諸収入 2. 保険料収入	1. 保険料収入	32,612	948	—	33,560	22,213
72 ↳ 73		5. 預託金元利収入	3. 経済観光文化費 預託金元利収入	171,380,000	—	—	171,380,000	169,380,000
76 ↳ 77		10. 受託事業収入	5. 経済観光文化費 受託事業収入	413,468	—	—	413,468	259,368
76 ↳ 81		12. 雑入	1. 違約金及び延納 利息	—	—	—	—	58
			7. 経済観光文化費 雑入	17,024	—	—	17,024	10,288
			13. その他の雑入	62,575	—	—	62,575	59,244
84 ↳ 85	(26) 市債 1. 市債	6. 経済観光文化債	2,389,000	△127,000	243,000	2,505,000	1,344,000	
歳　入　合　計				176,873,081	1,008,915	453,629	178,335,625	172,965,974

※各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

(単位:千円)

収入済額 (C)	不 納 欠損額 (D)	収 入 未済額 (B)-(C)-(D)	翌年度 繰越額 (E)	差 引 過不足(△)額 (C)+(E)-(A)	説 明
24,000	—	—	—	—	福岡城整備事業基金受入金 24,000
—	—	—	—	△697,926	港湾整備事業特別会計受入金 —
22,213	—	—	—	△11,347	1. 雇用保険料収入 1,698 2. 厚生年金保険料収入 20,515
169,380,000	—	—	—	△2,000,000	商工金融資金元利収入 169,380,000
259,368	—	—	—	△154,100	埋蔵文化財発掘調査受託収入 259,368
—	—	58	—	—	違約金及び延納利息 —
10,288	—	—	—	△6,736	1. 向島ポンプ場施設管理費負担金 10,024 2. 美術館事業助成金 — 3. アジア美術館事業助成金 264
55,285	550	3,409	—	△7,290	1. 金融対策 34,604 2. その他 20,680
1,344,000	—	—	1,083,000	△78,000	1. 商工業振興債 101,000 2. 観光施設整備債 130,000 3. 文化施設整備事業債 880,000 4. 文化財保存整備債 233,000
172,961,675	803	3,496	2,213,924	△3,160,026	

(2) 一般会計 (歳 出)

ページ		款・項	目	予 算 現 額				
決 算 事項別 明細書	主要施 策成果 説明書			当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	予備費補充額 及び 流用額	計 (A)
166 5 169	80	(7)経済観光 文化費 1. 商工費	1. 商 工 総務費	1,185,912	25,913	—	—	1,211,825
168 5 169			2. 商工業 振興費	7,769,176	1,210,930	1,147,603	—	10,127,709

(単位:千円)

支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	説 明
1,201,770	—	10,055	1. 一般職職員給与費等 1,199,918 一般職職員127人 2. その他の経費 1,852
7,168,348	1,380,930	1,578,431	1. 一般職職員給与費等 100,380 一般職職員25人(うち会計年度任用職員25人) [関連歳入 (25) 諸収入 5,078] 2. 中小企業の経営基盤の強化と持続的発展の促進 2,747,461 ア 経営相談・助言及び資金供給の円滑化 2,232,578 ・金融対策 1,447,713 ・燃料費等高騰の影響を受けた事業者支援 760,132 ・中小企業サポートセンター管理運営費 19,434 ・経営相談・診断助言事業 3,788 ・経営支援施策普及事業 1,098 ・その他 413 イ 販路拡大及び生産性向上の促進 47,306 ・デジタル・IT活用による生産性向上のためのトータルサポート 13,489 ・小規模事業対策 12,400 ・福岡発カーボンゼロ商品創出支援 8,585 ・福岡市トライアル優良商品認定事業 4,745 ・その他 8,087 ウ 人材確保・就労の支援 75,308 ・就労相談窓口事業 41,091 ・ミドル世代就職支援事業 13,943 ・生産性向上のための人材育成事業 9,182 ・中小企業採用ノウハウ向上支援 7,809 ・その他 3,283 エ 商店街の振興 331,416 ・商店街プレミアム付商品券事業 268,652 ・商店街地域観光連携事業 34,121 ・商店街魅力向上支援事業 10,606 ・商店街チャレンジ応援プロジェクト 6,453 ・商店街社会課題解決型補助金 5,347 ・商店街イベント事業補助金 5,033 ・その他 1,204

ペ ー ジ		款 ・ 項	目	予 算 現 額				
決 算 事項別 明細書	主要施 策成果 説明書			当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	予備費補充額 及び 流用額	計 (A)
168 ↳ 169	80	1. 商工費	2. 商工業 振興費					

(単位:千円)

支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	説 明
			オ 伝統産業・技能の振興 60,853 ・はかた伝統工芸館管理運営 28,023 ・伝統産業によるインバウンド観光消費拡大事業 15,956 ・伝統産業連携事業 7,242 ・博多織技能開発養成学校支援事業 5,000 ・技能振興支援事業 2,545 ・その他 2,087 関連歳入 (18) 使用料及び手数料 323 (19) 国庫支出金 393,821 (20) 県支出金 206,004 (22) 寄附金 4,745 (25) 諸収入 37,409 3. 創業支援と大学・企業連携 875,196 ア 創業及び第二創業の支援並びに経営の革新 707,984 ・スタートアップ支援施設事業 429,282 ・グローバルスタートアップ推進事業 109,208 ・スタートアップ拠点都市形成事業 31,428 ・ソーシャルスタートアップ成長支援事業 29,521 ・IPO等に向けた成長支援プログラム 28,528 ・特定創業支援事業利用者への支援 25,415 ・若年層(小中学生)の起業家マインド向上事業 19,518 ・国家戦略特区推進に関する総合経費 13,271 ・STARTUP KYUSHU開催事業 7,620 ・福岡スタートアップ・サポーターズ協議会事業 6,000 ・その他 8,193 イ 研究開発、技術革新及び事業化の促進 167,212 ・産学連携交流センター運営 102,507 ・旧産学官連携施設活用事業 32,526 ・九州大学学術研究都市推進機構支援 17,775 ・大学のまちづくり 5,351 ・mirai@関連事業 2,177 ・その他 6,876 関連歳入 (18) 使用料及び手数料 87,120 (21) 財産収入 102,122 (22) 寄附金 40,782 (25) 諸収入 195

ページ		款・項	目	予算現額				
決算 事項別 明細書	主要施 策成果 説明書			当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	予備費補充額 及び 流用額	計 (A)
168 ↳ 169	80 ↳ 81	1. 商工費	2. 商工業 振興費					

(単位:千円)

支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	説 明
			4. 新産業・クリエイティブ関連産業の振興 940,857 ア 新産業の振興 396,293 ・九州先端科学技術研究所 (ISIT) 支援 259,585 ・エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進 98,693 ・情報関連産業の振興 17,896 ・福岡グリーンイノベーションチャレンジ 12,535 ・DX推進エコシステム形成事業 7,584 イ 水素リーダー都市プロジェクト 407,207 ・水素ステーションの運営等 91,732 ・FCモビリティの導入促進 80,762 ・まちづくりへの水素実装 231,175 ・水素関連産業の振興 3,538 ウ クリエイティブ関連産業の振興 137,357 ・クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業 87,227 ・クリエイティブ関連産業の振興 35,310 ・音楽都市振興事業 5,429 ・メタバースを活用したクリエイティブ関連企業支援 4,700 ・フィルムコミッション事業 3,691 ・eスポーツビジネス創出事業 1,000 関連歳入 (19) 国庫支出金 40,609 (21) 財産収入 164 (22) 寄附金 26,428 (23) 繰入金 5,500 (25) 諸収入 922 (26) 市債 101,000 5. 企業の集積促進・国際ビジネスの振興 2,474,480 ア 企業立地及び産業集積の促進 2,363,464 ・企業立地促進制度の実施 2,347,569 ・重点分野の企業誘致推進事業 9,069 ・その他 6,826 イ 国際金融機能の誘致 48,454 ・外資系金融機関等の誘致推進 32,119 ・国際金融機能誘致推進事業 9,200 ・金融機関向けプロモーション 7,135 ウ 海外市場へのビジネス展開の促進 62,562 ・アジア経済交流センター等事業 27,000 ・グリーンテックビジネス海外展開事業 12,118 ・アジアビジネス促進・支援事業 9,792 ・姉妹都市等との経済交流事業 4,078 ・フードエキスポ九州 2,000 ・その他 7,574 関連歳入 (25) 諸収入 1,500